

なんこく 市議会だより

No. 108

令和6年(2024年) 2月号



主 な 内 容

《12月定例市議会》……………P2～4
概要、市政報告、
主な可決議案

《11月臨時市議会》…………… P3

《各委員会委員の決定》…………… P5
常任委員会・議会運営委員会

《12月議会一般質問》……… P6～14

《議決結果一覧》…………… P15

《なんこく歳時季 巻23》……… P16
・後免東町電停前交差点

◆ 表紙写真 ◆

改選後初の定例会が開かれました。
改選前からはベテラン議員数名が勇退され、最前列の6人が全て新人という若返りがあり、議会に新しい風が吹いています。

発行／南国市議会
E-mail:n-gikai@city.nankoku.lg.jp

編集／市議会だより編集委員会
南国市大堀甲2301 TEL 088-880-6570 FAX 088-864-3281



第433回

12月定例市議会

改選後初の定例会開会

令和6年4月「こども家庭センター」を新設
体制強化で、子育て支援の充実を図る

第433回定例市議会は、12月1日から14日までの14日間の会期で開かれました。

本定例会では、16名の議員が一般質問を行ったほか、市長提案の議案28件及び報告2件、議員発議の決議1件と意見書4件の審議が行われ、全28議案を可決・同意し、決議1件及び意見書3件を可決しました。

第432回 臨時市議会

議長に岩松永治議員、
副議長に西本良平議員を選出



議長
岩松 永治



副議長
西本 良平

10月22日の市議会議員選挙後、初めての臨時議会（組織議会）が11月6日に開かれ、正副議長の選挙を行い、議長に岩松永治議員、副議長に西本良平議員を選出しました。続いて、総務・産業建設・教育民生の各常任委員と議会運営委員が選任され、新しい体制が決定しました。（5ページ参照）

また、香南斎場組合議員に岡崎純男議員と福田佐和子議員を、議会選出の監査委員に神崎隆代議員を選任しました。

その他、報告案件1件を受け、閉会しました。

◆議長選挙結果

岩松永治（無所属）	11票
今西忠良（社会民主党）	10票

◆副議長選挙結果

西本良平（無所属）	15票
西山明彦（無所属）	6票

❖ 正副議長就任の挨拶 ❖

このたび11月臨時議会で正副議長に選出され、重責を担うことに誠に身の引き締まる思いです。10月の改選で市民の負託を受けて当選しました21名の議員の代表であることを自覚し、職責全うに精一杯努めるとともに、市民の皆様からは、常に信頼される議会を目指してまいります。

今後とも一層の努力をいたしますので、皆様方の御支援御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

◆12月定例市議会概要◆

12月定例議会初日、市長より市政報告があり、その後、今議会へ提出された議案の提案理由が説明されました。5日から8日までの4日間は16名の議員から、市長の政治姿勢、観光、教育、子育て、防災などについて一般質問が行われました。

11日には提出議案への質疑を行った後、人事案件2件の採決を行い、いずれも同意し、その他の議案は所管の常任委員会に付託しました。12日には総務、産業建設、教育民生の各常任委員会で付託議案の審査を行いました。14日の閉会日には各常任委員長の後、採決に移り、全付託議

案を原案のとおり可決・同意しました。また、同日には、議員から決議1件と4件の意見書が提出され、「ガザにおける平和の早期実現を求める決議」「医療・介護・障害福祉分野における処遇改善等を求める意見書」「認知症との共生社会の実現を求める意見書」「食品ロス削減への国民運動のさらな

る推進を求める意見書」を全会一致で可決、「子供のために保育士配置基準の引上げを求める意見書」を賛成少数で否決し、閉会しました。（15ページ参照）

岸田首相は第212回国会での所信表明演説において、経済対策に全力を注ぐ考えを強調し、コストカット型から持続的な賃上げや活発な投資が牽引する成長型社会へ変革することや、物価高を乗り越える国民への還元を行うことを表明しました。また、人口減少下でも質の高い公共サービスを提供するため、子育て、教育、介護などの分野でのデジタル

技術の活用を進めるとともに、地方創生と社会課題解決を両立させる循環経済の取組を推進する方針を示しました。こうした国の政策に併せて、本市においても、市民の生活支援や地方創生の施策を推進してまいります。

◆12月定例市議会市政報告◆

岸田首相は第212回国会での所信表明演

◆12月定例会市議会
主な可決議案◆

議案第1号

一般会計補正予算

補正予算規模は15億5920万6千円の増額計上です。主な歳出は次のとおり。

▽民生費関係／価格高騰緊急支援給付金給付事業費、障害者自立支援給付事業費

▽農林水産業費関係／市単独農道水路維持管理費

▽土木費関係／市単独道路新設改良事業費、都市再生整備事業費

▽消防費関係／防災費

▽教育費関係／大篠小学校受変電及び空調設備改修工事等に係る小学校管理費

議案第10号

住宅新築資金等貸付事業特別会計条例を廃止する条例

住宅新築資金に係る

債権の整理が終了したことに伴い、南国市住宅新築資金等貸付事業特別会計を廃止することから、本条例を廃止するものです。

議案第11号

税条例の一部を改正する条例

寄附金税額控除の対象となる寄附金または金銭について、県内の他の自治体の状況を踏まえ、見直しを行うことから、本条例の一部を改正するものです。

議案第12号

国民健康保険税条例の一部を改正する条例

全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴い、令和6年1月から、出産予定の被保険者または出産した被保険者に係る産前産後期間における所得割額及び被保

険者均等割額の軽減措置を講じることから、本条例の一部を改正するものです。

議案第13号

課の設置に関する条例の一部を改正する条例

児童福祉法の改正に伴い、令和6年度から、「福祉事務所」なども相談係」と「保健福祉センター」母子保健係」を統合し、新たに「こども家庭センター」を設置することから、本条例の一部を改正するものです。

議案第19号

消防団員の定数、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例

消防団員の出勤に係る費用弁償を廃止し、代わりに、国が策定した「非常勤消防団員の報酬等の基準」に準じた額による出勤報酬を

創設することから、本条例の一部を改正するものです。

議案第27号

教育委員会委員の任命の同意について

教育委員会委員の上岡哲朗氏の任期が令和6年1月15日で満了することに伴い、同氏を引き続き教育委員会委員として任命するため、議会の同意を求めるものです。

議案第28号

人権擁護委員の推薦について

人権擁護委員の弘光裕二氏は、令和6年3月31日をもって任期満了となるため、高知地方法務局長からその後任の推薦依頼があり、後任として、川端純子氏が適任者であると考え、同氏を推薦したく、議会の意見を求めるものです。

議
会
日
誌

12 月	11 月	10 月
19日・香南清掃組合議会定例会 ・南国香南香美租税債権管理機構 議会定例会	27日・市政連絡会 30日・議会運営委員会	11日・議会だより編集委員会 17日・全国高速自動車道市議会協議会 理事会（東京都） ・全国民間空港所在都市議会協議会 臨時総会（出雲市） 22日・市議会議員選挙 25日・姉妹都市岩沼市民訪問団歓迎会 31日・市政連絡会
1～14日・第433回市議会定例会 14日・議会運営委員会 ・議会だより編集委員会	2日・国営圃場整備事業に係る提案活動 （農林水産省中国四国農政局） 6日・第432回市議会臨時会 15日・新人議員説明会 27日・市政連絡会	

常任委員会(総務、産業建設、教育民生)、議会運営委員会の 新しい委員が決まりました (◎…委員長、○…副委員長)

総務 常任委員会

総務、財政、企画、税務、
危機管理、消防、他の常任委員
会の所管に属さない事項
【任期1年、7名】



◎西山明彦
無所属
(大桶甲)



○福田佐和子
日本共産党
(大桶甲)



斉藤正和
無所属
(小籠)



松下直樹
公明党
(大桶乙)



松本信之助
立憲民主党
(幸町)



丁野美香
無所属
(緑ヶ丘)



岩松永治
無所属
(久礼田)

産業建設 常任委員会

農林水産、農業委員会、建設、
都市整備、商工観光、上下水道
に関する事項
【任期1年、7名】



◎神崎隆代
公明党
(日吉町)



○山中良成
無所属
(大桶甲)



溝渕正晃
無所属
(大桶乙)



西本良平
無所属
(成合)



前田学浩
無所属
(稲生)



岡崎純男
無所属
(福船)



今西忠良
社会民主党
(久礼田)

◇ 議会運営委員会 【任期1年、10名】

議会の運営に関する事項、議会の会議規則・
委員会に関する条例等に関する事項、議長の諮
問に関する事項及び議案・陳情等を審査。

◎委員長／土居恒夫

○副委員長／植田豊

委員／杉本理、丁野美香、西山明彦、
神崎隆代、山中良成、有沢芳郎、
岡崎純男、今西忠良

教育民生 常任委員会

教育委員会、福祉、保健、民生、
環境に関する事項
【任期1年、7名】



◎有沢芳郎
無所属
(田村乙)



○杉本 理
日本共産党
(片山)



西内俊二
無所属
(大桶乙)



山本康博
参政党
(岡豊町笠ノ川)



斉藤喜美子
無所属
(白木谷)



植田 豊
無所属
(岡豊町小蓮)



土居恒夫
無所属
(十市)

◇ 市議会だより編集委員会 【任期2年、6名】

市議会だよりの編集にする事項

◎委員長／福田佐和子

○副委員長／松下直樹

委員／斉藤正和、松本信之助、
斉藤喜美子、西山明彦

執行部に問う

一 般 質 問



南国市議会 YouTube
これまでの議会中継も
御覧になれます

12月議会では、商工観光・教育・子育て・防災など市政全般について4日間にわたる一般質問が行われました。それぞれの質問内容の一部を要約して紹介します。

◆12月議会で行われた主な質問項目◆ (質問順)

1 西山明彦①財政運営(令和6年度予算編成「ハードからソフトへ、高齢者への経済的支援」、今後の財政状況)②住民自治と行政責任(自治活動団体、ごみ処理)③子育て支援(乳幼児の保健衛生)

2 今西忠良①平和行政(戦争から平和へ向けての取組)②勤労国民・市民の生活実態と改善③市民生活の向上と環境改善④マイナンバーカードとマイナ健康保険証

3 丁野美香①防災について(避難所開設キット、ペットの同行避難、浜改田保育園)②聴覚障害について(コミュニケーション方法)③病児保育について(病児保育事業)

4 杉本理①市長の政治姿勢(国政・県政への評価及び要望点)②十市地区津波避難タワー③十市地区農業用水

④平和行政(パレスチナガザ、高知龍馬空港平和利用)⑤学校給食無料化を

5 山中良成①投票方法(同時選挙の投票用紙の交付方法)②観光「あんぱん」(調査及び計画、県との連携、既存イベント活用)③吾岡保育園移転(進捗状況と計画)④ごみ問題(不法投棄ごみの回収、監視カメラ提案)

6 植田豊①AEDの屋外設置②中学校への自動販売機の設置③児童生徒の新聞活用④水上バイクの導入⑤校庭貯留の施設整備

7 土居恒夫①「あんぱん」を見据えた施策②命と健康を守る献血③フードドライブの推進(回収箱設置、子ども食堂)④通学路の安全対策⑤地元の課題(東沢土地改良区、大小浜流末排水施設の移管)

8 松下直樹①ごみステーション改善について②教育行政(給食費無料化、教員・児童の現状)③農業政策(農業者支援、農地中間管理機構について)④水道事業(上水道、中山間地域の生活用水について)

9 有沢芳郎①教育行政について(部活動の地域移行について、民間施設の利用「PFI事業について」)②南国市の広報戦略策定について③農林水産省の取組が変わることについて南国市の対応は

10 神崎隆代①まちづくり(観光、沿道広場の整備、公園)②こども家庭センター(役割、児童虐待防止)③高齢者施策(認知症基本法制定を受けて)④物価高対策(低所得世帯への給付、市独自の対策)

11 溝渕正晃①防災対策(避難タワー避難後について、舟入川の河川改修)②子育て支援(きょうだいの保育園入園)③農業振興(地域計画について)

12 斉藤正和①高齢者支援について(要支援・要介護認定者数、介護認定理由、在宅での主な介護者)②小中学校でのICT活用について③不審者の目撃情報・件数について

13 西内俊二①「あんぱん」放映に向けた南国市のPRの在り方と今後の取組②今後の隣接校選択制度・学童クラブの現状と今後の計画③南国市の防災情報通信・管理システムについての現状と今後の取組

14 斉藤喜美子①南国市を再び土佐のまほろばに②今回の選挙の在り方と子供たちへの教育③学校教育現場の疲弊について④農業と食料安全保障⑤安心安全な南国市を目指して

15 山本康博①コロナウイルス対策(イベルメクチンの利用、コロナワクチンの後遺症、ワクチン案内について、パンデミック条約の情報)②太陽光パネルのリスクヘッジ対策③商工観光分野の販路開発事業への道筋をつくる必要性④LGBT法について

16 福田佐和子①低投票率への対策②市民要望の予算確保(市道、通学路、水路の柵、公園の安全管理「カメラの設置」)③補聴器購入助成と一人暮らし高齢者への対応④マイナンバーカード⑤空港拡張

西山明彦 議員



住民自治と行政責任
(ごみの収集処分)

問 環境委員のごみステーションの管理責任の範囲、ごみ出しルールを守るべき市民の責務と収集処分すべき市の行政責任を問う。

答 違反シールを貼られたごみを排出者が持つて帰らない場合、環境委員にできる限りの範囲で分別や処理をお願いしている。

市民の責務は、条例にある廃棄物の抑制、再生利用、分別、指定ごみ袋の使用などのルールを守ることになる。市の責任は、様々なごみが混ざっていたり、大量のごみ袋がある場合などは、連絡いただければ環境課が回収し、

違反者が特定できる場合も対応する。

問 ごみステーション申請は環境委員からのみ。市が責任を持つよう規則改正を求める。

答 一定以上の世帯数が見込まれる集合住宅等では、申請書を宅地開発事業者や住宅建築事業者から提出してもらっているので、様式の変更を検討したい。

乳幼児の保健衛生

問 先天的な病気や特性のある乳幼児に対するケアと、保育所・学校での児童への支援体制と内容を問う。

答 先天的な病気のあるお子さんには、医療機関と連携し、退院後の家庭生活に向け福祉分野と調整を行い、発達が気になる場合は、乳幼児検診等を通じて保護者と話し合って医療機関につないでいる。

保育所・幼稚園では、特別児童扶養手当の支

給対象児童や介助なしでは歩行困難な児童に対し1日加配を、その他でもおおむね3歳未満で基準による半日加配を基本として、柔軟に対応している。

小学校入学に際しては、専門機関で教育相談を受けていただくようになっている。入学後は、県教委実施の外部専門家を活用した事業の利用もできる。体制としては、特別支援学級に入級した児童には、支援学級担任と通常学級担任が連携しながら対応し、その際、市雇用の支援員が、学校や児童の実態に合わせてサポートしている。

問 障害の程度により福祉施策を充分受けられない、制度の狭間にある児童へのきめ細かな支援を求める。

答 制度の谷間にある児童への支援が必要なケースを検討し、より良い支援に努めていく。

今西忠良 議員



毘沙門池の堤への
トイレ新設

問 毘沙門の滝は、市の名勝地にも指定されており、国分寺の奥の院である毘沙門堂が建立されている。年間1万人以上の方が訪れる市のパワースポットの一つだ。老朽化したトイレの建て替えについて、その進捗状況を問う。

答 毘沙門の池の堤上のトイレは、くみ取り式の和式の穴の開いた大便器で、また内壁の一部が男性用小便器と兼用で、毘沙門の池やその周囲の環境美化に取り組まれている地元からは、池の堤の改修に合わせて堤の土地が市に寄附されることか

ら、改善してほしいとの相談をいただいております。滝本地区から要望書もいただいている。

このトイレについて建て替えるのであれば、車椅子の方なども使いやすい多目的トイレがよいのかなどについて検討している。

戦争のない平和な
社会を求めて

問 パレスチナ、イスラム組織とイスラエルの武力衝突で無辜の民や子供たちの犠牲者が増え続けている。武力が決して平和をもたらすことはない。悲惨な戦争から平和への道筋に向けての取組と市民へのメッセージ発信を問う。

答 パレスチナのこの紛争問題は歴史的に深いものがあるが、人々の貴い命と平和な暮らしを理不尽に奪う行為をさせず、平和的解決を目指していくべきで

あると考える。そのためには、国際社会が連携しながら、戦争は認めないという姿勢も必要ではないかと思う。

国際社会連携の下、戦争を中止させるべく取組を進めていく必要があると考えており、悲惨な戦争という意味では、日本国も原子爆弾の被害を被った国であるので、いかに戦争というものが悲惨な状況を生み出すかということとを痛感している。そういういったことのないよう、日本もともに取り組んでいく必要があると思う。

今後、市としてどのような取組ができるのかまだ分からないが、できれば市長会への相談もしてみたいと思う。できる限り早くこの戦争が解決することを望む。

丁野美香 議員



防災

問 避難所への「避難所開設キット」の設置とペット同行避難の訓練を求める。

答 南海トラフ地震発生時に開設予定の市内44か所の指定避難所については、それぞれの避難所運営マニュアルを作成している。そのマニュアルはアクションカード形式になっており、避難してきた住民が誰でも避難所開設運営ができる内容となっている。令和5年度から、順次避難所へ、マニュアルと筆記用具など、避難所開設運営に必要な道具一式の整備を進めている。各地区の防災連合会を中心に、避難所マニ

アルを用いた訓練を実施していただき、この活動をさらに多くの地区で取り組めるように進めていく。

ペットの同行避難訓練については未定となっているが、同行避難訓練に向けての関係部署による研修については、令和6年1月18日に実施する予定だ。

問 避難時の誘導が大変な浜改田保育園に隣接する避難タワーの建設を求める。

答 浜改田保育園の津波緊急避難場所は、浜改田保育園も含めた地元の方々の協議の中で、現在の位置に浜改田本村タワーとして整備している。引き続き、迅速な避難ができるよう、取組を継続していただければと考える。

聴覚障害

問 手話講座の開催機会を増やして、もっと手話を身近に感じて

もらえるよう求める。

答 手話講座は新型コロナウイルス感染症の影響で開催を見合わせていたが、5類感染症となり、再開している。今後、住民の方と職員の希望数を勘案しながら、開催の回数は検討していきたい。

問 聴覚障害の方が周りに気づいてもらえないよう、シンボルマークとなるデザイン性のある南国市ならではの「耳マーク」の作成と周知を求める。

答 障害者に関するマークについては、ユニバーサルデザインの考えで、単純性や分かりやすさという観点から、独自性のあるデザインよりも、一般的なデザインを皆様に知っていただくことが大切であると考えている。



杉本 理 議員



十市地区

津波避難タワー

問 十市地区津波避難タワーの現在の進捗を伺う。

答 新たなタワーについては、本年度中に建設地の決定を目指し、対象の1地域からは建設地の要望をいただき、地権者と交渉を進めている。残る対象地域も順次、協議を進めていく。

問 建設に向けての財源を聞く。

答 建設に係る財源は、国土交通省所管の社会資本整備総合交付金を引き続き活用できるように計画申請する予定だ。残りの財源には、高知県防災対策臨時交付金制度の継続につ

て、高知県市長会を通して要望している。

問 竣工までのスケジュールを伺う。

答 令和5年度に土地選定を行った上で、6年度に国への計画申請及び決定を経て、7年度に土地を購入する予定だ。8年度には実施設計、9年度から建設を進め、10年度に竣工予定となっている。

問 整備後の管理について伺う。

答 これまでの津波避難タワーと同様に、地域の皆様に日常の管理をお願いしたい。補修や修繕は市が行うが、平常時には地域の行事や催物などに活用していただき、日常の清掃や見守りについては地域の力をお借りしたい。

平和行政

問 ガザでの戦闘行為について市長の思いは、

答 国際社会連携の下、こういう紛争や戦争が

起こらないように、平和的解決を図っていくことが望まれることではないかと思う。

問 この事態への声明を求める。

答 全国的な組織である市長会等を取り上げ、国に対して要請することが非常に効果的ではないかと思う。高知県市長会から働きかけができないか、相談する。

問 戦没者追悼式に出席しての市長の思いは、

答 改めて戦争の中から学び得た日本の悲惨な今までの経過の中で、戦争に向かったという反省の思いを強くし、今後、幸せな社会を築いていくために全力をもって当たっていく所存だ。

問 高知龍馬空港を「特定重要拠点」にする話を国・県から聞いているか。

答 国や県からは聞いてない。

山中良成 議員



吾岡保育園移転問題

問 吾岡保育園移転の進捗状況を問う。

答 吾岡保育園舎の更新については、移転を含め、関係者の方々と協議を継続して行っているが、移転候補地の確保に至っていない。

問 今後の計画を問う。

答 園舎の更新については、園、運営法人の意向を生かしながら進めていくことになるが、市としても協力をしながら一緒に進めていく必要があると考える。

問 用地交渉を継続し、保育園側と第2案・第3案を考える必要があるのではないか。

答 これまでも園と協議を行いながら進めており、第1案を園が望

む候補地の確保とし、現在対応を行っているところだ。今後、ほかの方法の検討なども含め、継続して対応をしていく必要があると考えている。

問 保護者の移転の要望が約10年間進んでおらず、保育園側も早期の移転を望んでいる。

答 既に水道管も大変な状況であり、震災時に子供の受入れも難しい。早期の計画を立てていただきたいが市長の考えを問う。

答 保育園とこれから協議しながら、早期の実現に向けて取り組みたい。

不法投棄の有効な対策

問 ごみステーションに不法投棄されたごみの対応を問う。

答 収集業者が違反シールを貼り、そのごみを一定期間を置くことで違反者への啓発になるが、その後、排出者

が違反ごみを持ち帰らない場合は、環境委員に分別や処理をお願いしている。また、様々な種類のごみが混ざっているごみ袋や、大量にある場合などは、環境課で回収するようにしている。

問 不法投棄をした場合、罰則はあるか問う。

答 法律で、個人の不法投棄に対して5年以下の懲役もしくは100万円以下の罰金、またはその両方、法人に対しては3億円以下の罰金刑が科せられることが規定されている。

問 監視カメラは、地区の了承を得る必要があるが、不法投棄防止の有効な手段となる。

答 公園近くに設置すれば、公園の事故等の防止、子供への安心安全対策となる。監視カメラの活用について問う。

答 新川児童遊園内への子供見守りカメラの設置は可能だと考える。

植田 豊 議員



小中学校の熱中症対策

熱中症対策

問 小中学校での熱中症（暑さ）対策について問う。

答 どの学校においても暑さ対策として、児童生徒各自が水筒を持参し、水分補給をしている現状がある。行事のときには、学校で茶饮をジャグタンク等で提供したり、持参する飲料についても、水やお茶だけでなくスポーツ飲料も可とするなど、各校で工夫をして熱中症対策を行っている。

問 小中学校の冷水器の設置状況を問う。

答 冷水器の設置は、小学校で1校に設置があるが、中学校には設置していない。

問 中学校への自動販売機の設置について問う。

答 放課後部活動等を行う中学生は、部活動が終わるまでに持参した飲料がなくなってしまう場合もあるかと思う。そういったこともあり、市内4中学校では、現在、熱中症対策の観点から自動販売機の設置に向け検討を行っている。しかし、生徒が使用するお金を学校に持つて来ることで予想されるトラブルへの対策や、ごみ問題など、自動販売機を設置した場合の自動販売機の使用ルールの明確化が必要であり、生徒や保護者等と協議を重ね、導入していきたい。

校庭貯留の施設整備

問 学校周辺の冠水対策として、校庭貯留施設整備の必要性を問う。

答 短時間豪雨の流域治水対策として、効果が期

待できる施設整備を求める。

答 校庭貯留については、豪雨による道路の冠水被害などを一定抑える効果が期待されると同時に、校庭の使用や、排水下流域に及ぼす影響があるのでないかという懸念はあるが、昨今増加している短時間豪雨による冠水等への対策としても一案だと考えている。なお、貯留施設の整備は大規模な工事となるので、工期、財源など、施設管理関係者との協議も必要であり、また、現在進めている流域治水の取組にも関連することであるので、国や県が主催する流域治水の会議において議題として提案していく。

土居恒夫 議員



「あんばん」を

見据えた施策

問 2025年放送の朝ドラ「あんばん」は放送100年の記念すべき作品として注目されている。本市を訪れる大型バスや自家用車の駐車場対策、観光案内について聞く。

答 朝ドラ「あんばん」に向けての取組については、現段階としては県内外からの観光客を受け入れるための環境の整備や、来られた観光客が後免町を巡り、楽しんでいただくためのやなせ先生にゆかりのある場所や功績の洗い出しなど、どのような対策が必要かを検討しているところだ。多くの観光客が大型

観光バスや自家用車で来られることが予測されるので、これらの駐車場として利用可能な土地について、市有地を中心に検討している。

朝ドラ「あんばん」をきっかけに来られた観光客が、やなせ先生

ゆかりの場所に行くとなると、道が分かりにくいので、観光客が目的地へ行きやすいように、観光協会と連携し、ホームページやSNS等を活用して情報発信、状況提供するとともに、現地に来られた方が道に迷わないように案内表示を設けるような対策を取っていきたい。

地元の課題

問 市道111号線は、かねてより改良の要望をしているが、4分の3が未改良。ところどころに危険くいや土のうが置かれている。通学路でもあるので早期改良を。

答 工事の実施については、令和6年度を計画している。

問 大小浜地区の流末排水処理施設は、管理が県・市のどちらでもないの、早期に移管協議し改善を望む。

答 大小浜流末処理は、旧春野赤岡線の排水処理施設で、旧県道春野赤岡線を市道として平成25年に供用開始すると同時に、この排水処理施設も移管を受け、市が市道の排水処理施設として今後の維持管理も実施していくことが本来の流れとなるが、現在この排水処理施設の財産に関しては、県から移管を受けていない。県には、市に移管していただくよう打診していきたい。

松下直樹 議員



ごみステーションの籠の蓋の軽量化

問 ごみステーションの籠の蓋が重い。何か改善策があるか問う。

答 蓋が重いとの御意見を以前からいただいております。他市では、引き戸型の籠を設置しているところはあるが、大きめに作る必要があり、価格も現在の籠と比べ高価である。また、ある一定以上のスペースがあるごみステーションは少なく、引き戸型の籠の設置はしていない。

問 高齢者にも使いやすいように蓋を軽い素材にできないか問う。

答 蓋の軽量化については、風で開いたり、

強風や台風のとくに蓋が飛び、建物や人への影響が考えられるので、軽い素材への変更はできないと思われる。

問 軽い素材でも安全に考慮して使用できるように工夫を求める。

答 ひもなどで止める蓋への変更等については、検討していきたい。

農業政策

問 収入保険の補助は今後どのような計画があるか問う。

答 本市での加入者数は、いまだ他市町村より低い水準にとどまっている。支援を行うことにより、制度の周知啓発を図ることが、将来的な地域の農業者の経営の安定と地域農業の維持につながるものと考え、当面の間はこの支援を継続していきたい。

問 農地中間管理機構の役割とは何か問う。

答 高知県農業公社が

高知県における機構として知事から指定を受けており、農用地の集団化、新たに農業経営を営もうとする者の参入の促進等による、農地利用の効率化及び高度化の促進を図ることを目指して事業を行うことが期待されている。

農地中間管理事業においては、市や農業委員会も連携協力をしながら、農用地の集積、集約化に取り組んでいる。

問 若い後継者のため、安心して農業に取り組める環境整備を問う。

答 規模拡大や施設整備等で補助事業を活用する際には、用地の選定の段階から行政の各機関も関わるようになるので、周囲への影響も考慮した計画になるような助言等、持続可能な営農に向けた支援ができるよう関係機関で連携していきたい。

有沢芳郎 議員



部活動の地域移行

問 本市の部活動地域移行の現在の状況は。

答 市立4中学校ごとに生徒数、教員数、部活動数や指導者など、部活動をめぐる環境が違いため、それぞれに応じた取組を進めることとしている。

問 今後の取組を問う。

答 まず、市のモデル校として香南中を部活動地域移行推進校に指定し取組を行い、令和7年度には香南中の全運動部活動の完全地域移行をしていきたい。

また、北陵中、鳶ヶ池中も、幾つかの部活動で地域移行実施の計画を立てている。しかし、スポーツ競技団体により大会出場細則内容が

異なるため、国、県と

しっかり協議を重ねながら、部活動を地域移行したことで大会に出場できないなど、子供たちが不利にならないように地域移行を推進していきたい。

問 香南中から先行して取り組むということだが、保護者への周知等はどういう状況になっているのか聞く。

答 9月に市立小中学校保護者へ教育委員会より通知文を送付し、広報なんこく11月号で、地域部活動移行についてお知らせをした。また、11月には香南中学校生の保護者や、新しく同校に入学される児童及び保護者には、それぞれ説明会を実施した。

今後も、先行して部活動の地域移行を行う学校で出てくる様々な課題に対し、一つ一つ丁寧に向き合い、迅速に解決していかなければならないと考える。

南国市の広報戦略

問 市のホームページは、各課の記事一覧がどれが新しいか分からない。手続関係でも利用者がどうすればよいのか判断できるように

なっておらず使いづらい状態だ。リニューアルする考えは。

答 市ホームページの更新については、9月に総務省から、みんなの公共サイト運用ガイドラインに基づく、高齢者や障害者を含む誰もが提供される情報や機能を支障なく利用できるウェブアクセシビリティへの対応の推進について通知されているので、現在、情報収集を行っている。より利用者にとって見やすい、分かりやすいホームページとなるよう検討していきたい。

神崎隆代 議員



まちづくり

問 「あんぱん」放映までに噴水のある沿道広場が整備されるが、ベンチや休憩施設、Wi-Fiスポットはどうか。

答 ベンチやパーゴラ（格子状の屋根の構造物）などは設置を前提に検討しているが、どの施設をどこに配置するか、また、Wi-Fi機能付きの自動販売機の設置についても検討中だ。設置スペースやコンテンツを含めた検討もする必要がある。関係団体と協議しながら検討していく。

問 沿道広場の整備には野中兼山遺構の用水路への配慮が必要だ。どう考えるか。

答 後免町を流れる舟入川やその水路の水と大いに関わりのあるもので、皆様にも知ってもらえるような情報板を広場内に設置したい。また、情報板に掲載する内容については、できるだけ分かりやすいものとなるよう、地元の方々をはじめ、南国市観光案内人の会の皆様にも協力をいただきながら作成したい。

問 市独自の施策として住民税均等割のみの世帯にも給付がされるのか聞く。

答 交付金の額が決まっており、より効果的な支援ができるよう考えているが、あくまでも市民の皆様様に公平に支援ができるよう、それらを踏まえて、非課税世帯と同様の支援を優先的に検討している。

物価高対策

問 住民税非課税世帯等への7万円給付や、減税等の状況について聞く。

答 低所得者世帯への給付については、今議会において補正予算に計上している。

なお、令和6年度の税制改正において、納税者及び配偶者を含めた扶養親族1人につき、令和6年分の所得税3万円、令和6年度分の個人住民税1万円の定

額減税が令和6年6月から開始される予定とされている。

問 学校給食費への支援ができるのか聞く。

答 給食費については昨年度も実施しており、十分対応可能と考えている。

溝淵正晃 議員



防災対策

問 避難タワーへの避難後の時間と、その間に必要な食べ物や飲料水、防寒対策等はどうなっているか。

答 南海トラフ地震の発生時、少なくとも2日程度は津波避難場所での避難を継続していただく必要があるのではないかと考えている。

避難タワーの備蓄は、高知県備蓄方針に基づき、飲料水、トイレ関係資材を整備している。また、防寒対策として、毛布やブランケット、発熱材により水を温められるタンブラー、風よけ用のブルーシートなどを整備している。

食べ物については、長期避難でないため、

市としては整備していないが、防災会への補助金を活用し、地域の自主防災会を中心に備蓄を進めているタワーもある。

問 避難後の緊急連絡手段はあるか。家族が離れ離れたとなった場合などに、避難しているか確認する方法は。

答 連絡手段については、高知工業高等専門学校生が開発に携わり、無線LANと衛星インターネット回線を利用することで各タワーの間と市役所本庁舎を通じてつながり、つながりタワーシステム及びアプリを整備している。これにより、避難者が各タワーの状況を市役所と共有すること、別々のタワーへ避難した家族が、互いに連絡を取ることが可能である。

子育て支援

問 待機児童はいるか。また、きょうだいで別

園に通っている子供の人数を問う。

答 保育希望者に対する受け入れ枠はおおむね確保できている。令和5年4月で、同施設への入所希望で認定できなかった児童は6名いる。

問 同じ園に通えるよう改善できないか。

答 保育施設への入所は、国の考え方にに基づき、各家庭の保育の必要性を指数化し、高い方から入園をする利用調整を行っている。きょうだいの通園については、配慮が必要であり、以前より兄弟姉妹が既に入所している保育施設の利用を希望する場合には指数の加点を行い、同一園への入所の配慮を行っている。

各施設の定員や空き状況など、必ずしも希望の施設に通えない場合があることを御理解願いたい。

斉藤正和 議員



高齢者支援

問 高齢化率は上昇傾向だが、南国市内における要支援、要介護の認定者数、認定理由、主介護者について問う。

答 令和5年10月末で要支援者542人、要介護者2007人で、介護認定理由は、脳血管疾患、加齢による身体機能の低下、認知症、筋骨格系疾患、糖尿病、骨折など、様々なものが挙げられる。

在宅で生活する介護認定の更新申請、区分変更申請を行った方を対象に実施した在宅介護実態調査での主な介護者を問う設問では、配偶者37・5%、子47・5%、子の配偶者12・5%、孫1・3%という結果であった。

問 認定理由によつては、備え、予防に取り組むことで健康寿命を伸ばすことができると思われる。骨折された方はどこでされたのか。

答 医療のデータからは抽出、把握できないが、令和4年度の後期高齢者医療における疾病別分類の入院では、骨折は574件で、件数、費用とも第2位となっており、医療費も押し上げる要因となっている。

小中学校でのICT活用

問 デジタル教科書の導入が進み、生徒たちはタブレットやパソコンを使って教科書を閲覧し、対話的な学習が促進されていると思われるが、市内の小中学校でのICT活用状況について問う。

答 南国市版GIGAスクール構想のロード

マップを基に、ICTを活用した協働的な学びと個別最適化の学びのある授業による主体的、対話的で、深い学びの実現を図る必要がある。そのため、まず協働的な学びのある授業に向けて、授業支援ソフトとしてロイロノート・スクールを導入している。子供たち同士学びを同時に共有し、子供たち同士が互いの考えに触れ、自分の考えと比較し、学習の調整を図るといった、より深い学びに向かうことができる授業づくりを目指している。

個別最適な学びによる学力定着、向上に対しては、令和5年度より小学3年生から中学3年生に対しAIDドリルソフトを導入し、日々の授業などでの活用と端末の持ち帰りとともに、家庭学習などでも活用している。

西内俊二議員



「あんぱん」

放映に向けた取組

問 「あんぱん」の放映を好機として捉え、主体性を持った地産外産・観光戦略を南国市独自でどのように取り組んでいきたいか。

答 NHK朝の連続テレビ小説「あんぱん」の放送に向けての取組については、現段階では、県内外からの観光客を受け入れるための環境の整備や、来られた観光客が後免町を巡り、楽しんでいただくためのやなせ先生にゆかりのある場所や功績の洗い出しなどともに、佐川町の取組などを参考に、どのような対策が必要か検討している。

また、県や他市との取組については、南国、香美、香南の3市と物部川DMO協議会との意見交換会で、県観光振興部長も同席の中、「あんぱん」について

も、3市が連携して取り組むことや、県から3市の取組に対して支援する意向であることなどの話合いを行った。

今後の隣接校選択制度と学童クラブ

問 2017年に導入した大篠小学校隣接校選択制度の今後の考えと、制度に伴う学童クラブの現状と今後の環境設備改善計画を問う。

答 現在、大篠小学校においては、導入前に予想していた児童数を下回り、過大規模の解消にも一定の効果が上がっており、隣接校にも一定の効果が見られる。この制度を利用している家庭からおおむね好評をいただいてお

り、学校再編のような大きな変革がなければ、この制度を継続していきたい。

学童クラブの入所については、定員の関係等で低学年の児童が優先的に入所するといった状況になっている施設もあるかと思う。

今後数年、利用希望者の増が見込まれている大篠小学校区では、民営の学童施設が令和6年度からの運営開始を目指して準備を進めるなど、受皿の確保も行っている。他の学童クラブも利用希望への対応は考えなければならぬが、施設整備には予算や場所の問題等、難しい面もある。放課後の子供の居場所づくりと考え、学童クラブだけにこだわることなく、既存施設等の有効な活用方法なども検討を行っていかれたら考える。

斉藤喜美子議員



働き方改革と

余剰時間

問 教員の働き方改革が進められているが、市の進捗状況はどうか。

答 県下に先駆けて学校事務の効率化、学校給食の公会計化、教職員安全委員会の設置、勤務時間管理、100人プロジェクトによる各種支援員の配置、全市的行事、研修会の削減、夏季休業中の学校閉庁、長期休業明けの短縮授業の施行など、様々な施策は展開してきた。しかし、一定の

効果は見られるものの、全教職員が認識できるほどの多忙化の解消までは至っていないのが現状だ。現在検討していることも含め、今後

後も積極的に取り組んでいきたい。教職員の働き方改革が子供たちにとってもよりよい教育活動につながるよう取り組んでいく。

問 特に小学校低学年で標準時数に余剰時数を加算し、授業時数がかなり多い学校が見受けられる。それにより子供たちや先生方に負担がかかっているのか。

答 国からも授業時数や学校行事の精選が呼びかけられているが、マンパワー不足による負担が何よりだと考えている。

小学校の専科教員の配置や加配教員の増員、支援員の配置など、国、県、市を挙げて取り組まなければならない。

認知症等で行方不明になる方の捜索

問 高齢化に伴い全国でも認知症と思われる方の行方不明が増加している。捜索に関して

難しいと感じることは何か問う。

答 消防団員にも情報提供をするが、行方不明者捜索時に防災行政無線やメールなどで得られる情報は、住所、氏名、年齢、性別、体型、服装、行方不明になった日時などのうちの一部に限られている。また、目的地向かって家を出たという情報がなく、いついなくなったか分からない場合も多く、どこを捜索したらよいかが一番の問題ではないかと考える。

問 いかにか早く発見、保護するかが重要だ。嘱託警察犬にボランティアとして参加してもらうことは可能か。

答 これまでの行方不明者捜索においては、時間経過とともに厳しい状況に陥ったこともあり、人命救助のために尽くせる手だてがあれば講じておくことができればと考える。

山本康博 議員



販売プラットフォーム

フォームの活用

問 国内外へ販売のために販売プラットフォームを活用することについて問う。

答 市内事業者等による商材の販路拡大や売上増加を図る上で、地域外への販売である地産外商への取組はとても重要で、販売方法は店頭からネットまで広がり、様々な方法が用いられているところから、県外、国外への販売のハードルも以前より下がっている。

市では、現在、市内事業者に対し楽天市場やAmazon等のプラットフォームを使つたビジネス支援は行っていないが、中小企業

振興事業費補助金を設け、その中の地域特産品等開発事業において、地域の特産品の開発や開発商品の販路開拓、技術指導受入れ費やデザイン外注費等への補助、また専門家派遣事業において、専門家派遣に係る謝金等への補助を行っている。

また、市や県が運営するオンラインストアはないが、高知県地産外商公社が運営している高知県産品データベースがあり、バイヤー向けにインターネット上で県産品の紹介等の販売支援を行っている。

プラットフォームの活用は、市内事業者等が県外、国外へ販売するための有効な方法と考えられるので、まずは調査研究から始めた。

太陽光パネルの

危険性の除去

問 太陽光発電事業者

が撤退、倒産などで、太陽光パネル等を撤去することができなかった場合、様々な問題が発生すると思うが、撤退するときの費用を市が預かるなどの制度を設けておく必要があるのではないか。

答 法律の施行規則において、事業終了時の適正な撤去及び処分やその実行に要する費用を想定した事業計画を国へ提出し、国が事業計画の認定を行っている。市には、事業者から事業計画の初期段階に事業化概要書を提出することになっており、届出があった場合は地域への事業内容の事前説明や協議をすること、都市整備課や農業委員会など関係各課へ案内をしている。

市において施設の設置許可や撤去の確認などは行っていないので、撤去費用を預かることはできない。

福田佐和子 議員



市民要望の

早期実現を

問 市民からの要望の多い水路への柵、安全な通学路、中町電停交差点前の歩行者用信号の改善、新川児童遊園地などの安全対策について、今後の実現見通しを聞く。

答 水路沿いの側溝の柵は、安全確保と水路の維持管理ということ

があり、実際施工するときに地区の代表の方や、地区の利用される方に話を聞き、工事を実施して、維持管理ができるように対応したい。ただ、どうしても維持管理と安全対策に違いが出てくるので、管理がしやすい場所でない場合もあるので、

地元の方と話し合っていきたい。

通学路の安全対策については、令和6年度に向けて予算計上していきたい。

中町電停交差点前の横断歩道における南北に渡る高齢者や小さな子供が渡り切れないという状況と、青信号の間隔を長くしてほしい旨の要望については、信号を管理している南国警察署の交通課に伝え、信号等の間隔を長くしてもらえるようお願いをしていく。

新川児童遊園地については、以前にも夜間に児童遊園地内が見通しが悪く暗い場所に若者が集まって、防犯上不安であるとの苦情が寄せられており、これまで道路から公園内が見通せるように、小山の撤去や高木の伐採、防犯灯の設置など、対策をしてきた。新川児童遊園地内への防犯カ

メラの設置については、子供たちの安全な遊び場の確保と見守りのため、来年度以降にはなるが、子供見守りカメラを設置する方向で検討していく。

高知空港拡張

問 「空港拡張」の記事に、市民は心配をされている。過去の拡張では、大切な家や田畑だけでなく、墓やほこらまで移転させられたと空港史で確認した。当時、平和目的にしか利用しないとの話もあったと聞くが、市はどのような立場にあるのか聞く。

答 まだ市に相談は来ていない。

議決結果一覧(11月臨時会・12月定例会)

■11月臨時会(11/6)

◆議案

1号・監査委員の選任の同意について……………全会一致で同意

◆報告

1号・市道瓶岩体育館線道路整備工事(橋梁下部工・道路工)請負契約金額変更に係る専決処分の報告について……………報告

■12月定例会(12/1~14)

《令和5年度補正予算》

1号・一般会計補正予算……………全会一致で可決

2号・住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算……………全会一致で可決

3号・農業集落排水事業特別会計補正予算……………全会一致で可決

4号・国民健康保険特別会計補正予算……………全会一致で可決

5号・介護保険特別会計補正予算……………全会一致で可決

6号・後期高齢者医療保険特別会計補正予算……………全会一致で可決

7号・水道事業会計補正予算(第2号)……………全会一致で可決

8号・下水道事業会計補正予算(第1号)……………全会一致で可決

《その他》

9号・特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例……………全会一致で可決

10号・住宅新築資金等貸付事業特別会計条例を廃止する条例……………全会一致で可決

11号・税条例の一部を改正する条例……………全会一致で可決

12号・国民健康保険税条例の一部を改正する条例……………全会一致で可決

13号・課の設置に関する条例の一部を改正する条例……………全会一致で可決

14号・一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例……………全会一致で可決

15号・市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例……………賛成多数で可決

16号・市長等に対する給与並びに旅費に関する条例の一部を改正する条例……………賛成多数で可決

17号・会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例……………全会一致で可決

18号・職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例……………全会一致で可決

19号・消防団員の定数、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例……………全会一致で可決

20号・市立スポーツ施設の指定管理者の指定について……………全会一致で可決

21号・調停の申立ての取下げについて……………全会一致で可決

22号・字の区域の廃止について……………全会一致で可決

23号・香美郡殖林組合の解散について……………全会一致で可決

24号・香美郡殖林組合の解散に伴う財産処分及び事務承継について……………全会一致で可決

25号・事務用パソコン購入契約の締結に係る追認について……………全会一致で可決

26号・事務用パソコン購入変更契約の締結に係る追認について……………全会一致で可決

27号・教育委員会委員の任命の同意について……………全会一致で同意

28号・人権擁護委員の推薦について……………全会一致で同意

◆報告

1号・債権放棄の報告について……………報告

2号・損害賠償の専決処分の報告について……………報告

◆議員提出議案等

1号・ガザにおける平和の早期実現を求める決議……………全会一致で可決

2号・医療・介護・障害福祉分野における処遇改善等を求める意見書……………全会一致で可決

3号・認知症との共生社会の実現を求める意見書……………全会一致で可決

4号・食品ロス削減への国民運動のさらなる推進を求める意見書……………全会一致で可決

5号・子供のために保育士配置基準の引上げを求める意見書……………賛成少数で否決

賛否の分かれた議案等

○賛成 ×反対 一議長(議長は賛否に加わりません) 欠…欠席

議員名 議案番号	斉藤 正和	松下 直樹	松本信之助 之助	西内 俊二	溝渕 正晃	山本 康博	斉藤喜美子 美子	杉本 理	丁野 美香	西山 明彦	神崎 隆代	植田 豊	西本 良平	山中 良成	岩松 永治	土居 恒夫	有沢 芳郎	前田 学浩	岡崎 純男	福田佐和子 和子	今西 忠良	結果
議案15号	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	×	○	可決
議案16号	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	×	○	可決
議発5号	×	×	○	×	○	○	×	○	×	○	×	×	×	×	-	×	×	×	×	○	○	否決



なんこく歳時季

巻

23

〔 後免東町電停前 交差点 〕

現在、ＪＲ後免駅に至る南国駅前線や都市計画道路など、中心市街地の道路が整備されつつあります。

後免東町電停前交差点では、道路の形状が変更され、工事が進められています。

12月下旬には、ドライバーや歩行者の皆さんに、より安全に通行していただけるようにするため、歩行者用信号灯火を追加の上、これまで点滅のみだった信号機が定周期で運用されるようになりました。

なお、道路の舗装工事は、令和6年3月頃まで続く予定です。



編集後記

能登半島地震、航空機事故で被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

南国市は、地震も航空機事故も決して他人事ではなく、市民の皆様も同じように痛みを感じておられるのではないのでしょうか。ぜひ、支援の輪が広がることを願っております。

市議会だより編集委員会は新しいメンバーになりました。これからも市民の皆様の願いが届く議会と、より分かりやすい議会だよりになるよう、力を合わせて頑張ります。よろしく願いいたします。

(福田)

◎市議会だより編集委員会

委員長	福田 佐和子
副委員長	松下 直樹
委員	齊藤 正和
〃	松本 信之助
〃	斉藤 喜美子
〃	西山 明彦

●12月定例会市議会の会議録は、2月末以降に市ホームページ (<https://www.city.nankoku.lg.jp>)、議会事務局のほか、市立図書館で閲覧できます。

●次回の定例会市議会は3月初旬開会予定です。傍聴はどなたでもできます。